

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービスさくら

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和8年

5月

1日

法人(事業所)理念		私たちは、一人一人に丁寧に向き合い、子どもたちが社会の中で自分らしく生きていくための力を、焦らず、確実に、一つずつ育てる支援を行います。子どもたちが将来、自分の足立ち、自分の居場所を見つけて歩き出せるよう、今と未来をつなぐ支援を大切にします。					
支援方針		①一人ひとりを見る・・・子どもを集団で判断せず、その子自身の「背景」「特性」「気持ち」に寄り添う②焦らせない、比べない・・・昨日のその子と今日のその子を比べる③できたを積み重ねる・・・成功体験を見逃さず自信につながる支援を大切にします。将来を見据えて、生き生きと生活が送れるために必要なスキルや経験を楽しみながら習得できる機会を提供します。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	身辺動作の自立が図れるよう、個人の発達段階に応じた働きかけを行っていきます。個別・小集団での関わりのなかで、スケジュールを理解して日常生活が送れるよう理解を促していきます。時間の感覚を養うこと、自分の体の様子に気づき、他者に伝えたり状態にあわせた活動を行える土台作りを行っていきます。					
	運動・感覚	姿勢保持や協調動作がスムーズに行えるよう、遊具や教材を用いて粗大運動～微細運動までまんべんなく動きを促していきます。「見る」ちからと「動く」力を効率よく使えるように楽しみながら行える課題を実施します。また、感覚特性を理解して、対応策を考えたり、症状に対して軽減できるようプログラムを実施します。					
	認知・行動	認知面の特性を理解し、それぞれの特性にあった習得しやすい方法での情報処理を定着できるようサポートを行います。集団生活において負担が少なく、また適切な方法で活動に取り組めるよう、行動面の特性についても原因を知り、対策やトレーニングを実施します。					
	言語コミュニケーション	「伝えたい」気持ちを大切に、他者と関わることの楽しさを味わえるプログラムを実施します。対職員のみでなく、同年代の児童との関わりの中で、楽しみながら伝える経験の機会を提供していきます。自分の思いを表現する力、他者の思いを理解する力を育てていきます。					
	人間関係社会性	小集団での関わりの中で、一定ルールのある遊びを取り入れながら、集団の中で参加する経験を通して社会性を育てる支援を行います。適切な関わり方を学び、社会性の育成を支えていきます。また、仲間づくりを通して本人にとって安心できる、心地よい居場所の提供に努めます。					
家族支援		支援時間、お迎え時、その他随時ご家庭や学校での困りごとや疑問など気軽に相談できる場を設けていきます。定期的に保護者向けに勉強会などの機会を提供します。			移行支援		保育園、学校、並行利用先等ライフステージの変化を見据えて連携を図り、必要な情報提供を行っていきます。将来に向けて必要な支援を行います。
地域支援・地域連携		通園先、通学先、並行して利用されているデイサービス等、関係機関と情報共有を行い、一貫性のある支援を行っていきます。			職員の質の向上		定期的な内部・外部研修の実施。月1回ケーススタディの実施を通して療育内容や関わり方の検討を実施していきます。
主な行事等		季節の行事にあわせたイベント(誕生日・節分・七夕・クリスマス・お月見等)。小集団プログラムの実施。					